

2004年3月度 高島屋営業報告

2004年4月14日

百貨店事業概況 本年 -8.3 実質 -7.4 (前年比%) *実質とは、米子店を含む前年比

3月度は、土・日・祝日が前年より3日減した事に加え、中旬以降の気温の低下や降雨等による天候不順により、春物商材の動きが鈍り、18店計前年比は-7.4%と前年実績を下回った。

店舗別概況							関西計	
関西	大阪店	京都店	泉北店	岡山店	岐阜店	米子店	本年	実質
売上	-5.9	-6.9	-2.6	-11.9	-16.9	-12.8	-9.4	-7.1
入店客数	-6.1	-7.9	-1.9	-1.5	-5.8	-8.4		-6.3

*大阪店には和歌山店・堺店、京都店には洛西店の売上を含む

関東	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎店	関東計
売上	-10.7	-7.4	-8.0	0.3	-10.6	-3.6	-7.0	-6.7	-7.6
入店客数	-7.0	-4.0	-8.9	-1.8	-1.1	-6.6	-4.6	-5.9	-5.3

*横浜店には港南台店の売上を含む

〈店舗別〉 店舗別では、引続き改装効果により玉川店は前年を上回ったが、他店舗は、改装工事による面積減の東京店をはじめ、入店客数減もあり、軒並み前年実績を下回った。

4/21リニューアルオープンに先駆け、(2階から6階)移転オープン(2/18)した東京店紳士服フロアでは、3月に入り新規ブランドの投入効果も表れ、常備売上前年比+1.2%で推移している。

広域事業概況	法人	通販	広域計
	3.6	-15.3	-4.7

〈広域事業〉 法人事業は受注物件の規模拡大により前年を上回った。一方、通信販売事業はカタログ「春号」(2/23発行)の発行部数調整による影響や、衣料品、特にリビング用品の低迷により前年実績を下回った。

総計	本年	実質
	-8.1	-7.2

商品別概況 (百貨店協会商品区分)

	本年	実質		本年	実質		本年	実質
紳士服・用品	-8.8	-7.9	身のまわり品	-5.8	-5.5	食料品	-6.0	-5.0
婦人服・用品	-9.1	-7.9				食堂・喫茶	-14.5	-13.1
子供服・用品	-10.4	-8.7	家具	-5.1	-4.6	雑貨	-4.1	-3.3
その他衣料品	-11.1	-10.1	家電	-5.4	-4.9	サービス	-23.5	-22.4
衣料品計	-9.3	-8.1	その他	-19.9	-19.2	その他	-10.3	-8.9
			家庭用品計	-14.9	-14.3	合計	-8.1	-7.2

〈店頭商品別〉 商品別では、特選衣料雑貨(前年比-2.5%)、スポーツ用品(同-2.2%)が比較的健闘したものの、春物商材が2月好調の反動もあり、婦人服(同-8.0%)、紳士服(同-8.4%)、婦人雑貨(同-8.7%)、紳士雑貨(同-10.3%)は低迷、ベビー・子供(同-8.6%)、食料品(同-5.2%)も前年を下回った。

以上